

JAPANブランド育成支援事業一覧（平成16～令和元年度） * 53件

事業開始年度	県名	事業実施者	事業概要	戦略策定	ブランド確立			
				0年目	1年目	2年目	3年目	
H16年度	秋田県	ゆざわ小町商工会	【アルテザンビラジジョ(稲川町の職人集団)が作る世界ブランド】 伝統工芸品指定を受けた「川連(かわつら)漆器」の素材(天然木、天然漆)と技術を使って、欧米のライフスタイルに合わせた食器や家具を製作し、川連漆器とその職人を海外に通用するブランドに育てる。		H16年度			
	秋田県	八森峰浜商工会	【白神の海と大地の恵み 八森峰浜の特産品ブランド化事業】 世界遺産の「白神山地」の自然から生まれた、海藻「ギバサ」、ハタハタずし、低温でも発酵可能な「白神こだま酵母菌」を使ったパン、水、豆腐、地鶏、酒などの地元特産品を「白神の恵み」シリーズとして国内外に販路開拓を図る。		H16年度			
	山形県	山形商工会議所等	【山形発「カロツツェリア型ものづくり」のブランド展開】 「個人住宅の社交空間を演出する商品群」とのコンセプトの下、山形出身の世界的に著名な工業デザイナーの監修により、鋳物、木工、繊維等で素材調達からデザイン開発、製造、組立、販売までを地域一体で行った製品群(ペレットストーブ、ティーポット、室内社交着等)を提供し、海外での評価確立を図る。		H16年度	H18年度	H19年度 (先進: H20年 度)	
	福島県	会津本郷町商工会	【「会津本郷焼と田舎健康食」革新プロジェクト】 欧米の知識層をターゲットに、伝統工芸品の「会津本郷焼」の食器と、「田舎の健康食」(山菜や味噌などの発酵食品)を組み合わせた商品を開発し『みちのく会津 “用の美、と食文化」をテーマとして一体的に提案する。		H16年度			
H17年度	青森県	弘前商工会議所	【津軽うるおい、うるわし事業プロジェクト】 「津軽塗」の伝統的技法を生かし、オーストリア、イタリアの有力デザイナーを起用し、漆とガラス、漆と革のコラボレーションによるデザイン性の高いアクセサリーなどファッション関連製品、インテリア用品、テーブルウェア製品などの商品群を開発し、欧州・国内大都市圏でのブランド展開を目指す。		H17年度	H18年度	H19年度 (先進: H20年 度)	
	青森県	尾上町商工会	【りんごの機能性を発揮した食品の高度ブランドの創造と発信事業】 青森県産のりんごは東アジア市場を中心に高食味・高品質という高い評価を得ている。これまで地域で蓄積してきたりんごに関する研究成果・加工技術を活用して機能性食品・加工食品を開発し、国内及び東アジアの美容と健康志向の高い都市生活女性層をターゲットしてブランド展開を図る。		H17年度			
	青森県	東通村商工会	【「ひがしどおり海山喰(か)さいまい」創出プロジェクト】 下北半島、津軽海峡の豊かな自然の中で育った新鮮で豊富な海と山の幸を融合し、首都圏及び上海の本物志向を求めるグルメな消費者やホテル・レストラン等をターゲットにブランド展開を図る。		H17年度	H18年度	H19年度	
	岩手県	遠野商工会・宮守商工会	【日本のふるさと遠野郷ブランド「トネーゼ」】 遠野郷が持つ伝統的な食生活と文化を活かしつつ、LOHAS(健康と持続可能な環境に配慮したライフスタイル)の概念に沿った商品づくりを行い、ブランド展開を目指す。イタリアをターゲットに、遠野のスローライフ、スローフードの考え方を提案しながら、遠野の素材(わらび、やまめ、暮坪かぶ、そば、遠野クラフトなど)を活用したメニューの提案、こだわり商品、食空間(インテリア・生活雑貨)等の提案を行う。		H17年度			
	福島県	会津若松商工会議所	【漆「JAPAN」From AIZU】【BITOWA FROM AIZU】 国内漆器産地においても卓越した「蒔絵」技術を有する会津漆器の特徴を活かしつつ、現代ヨーロッパの生活スタイルにマッチしたアイテム、形状、色彩、加飾等を具現化し、新しい技術を採り入れながら、商品開発を行う(例:ワイン文化とのコラボレーションによる酒器等)。欧州の中でも特にフランスにおける市場開拓を図る。		H17年度	H18年度	H19年度 (先進: 20年度)	
H18年度	秋田県	能代商工会議所	【木材製品】 豊富な「天然秋田杉」を利用した木材製品の高付加価値化に向け、ブランド化のための戦略を策定する。研修会の開催、流通状況についての調査を実施するほか、これまで杉材が使われてこなかった部材への用途開拓、実用的な製品の開発および需要地である都市・首都圏への販路拡大を目指す。	H18年度				
	宮城県	宮城県商工会連合会	【木地玩具・漆器】【NARUKOブランドプロジェクト】 鳴子地域のこけしの生産量は20年前にと比べて半減している。そこで、これまで培ってきた伝統技術を活かし世界に通用する新たな製品開発を行う。そのために木地玩具の市場調査、販売先・販売商品等の研修、ブランド構築に精通した専門講師を招き、新伝統工芸品の製作・販売開拓等の研修を積み、国内外の消費者向けの木地玩具と漆器を融合させた試作品を製作するなど、ブランド確立のための調査研究を行う。	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
	岩手県	盛岡商工会議所	【南部鉄器フォー・ユーロ・ブランディング事業】 強靱鉄・錆びにくい鉄という新素材と伝統的技法とを融合し、さらに生活用品のデザインにおける先進国であるフィンランドのデザインを導入することで、従来の鉄製製品を一新、30代から40代の生活スタイルに適合したブランドを構築により市場拡大を図る。また、フィンランドとの協働により、ヨーロッパでのプロデュース・ファミリーユースに適合する製品を開発する。		H18年度	H19年度	H20年度 (先進: H21年 度)	
H19年度	岩手県	釜石商工会議所	【三陸釜石「海の宝石箱」プロジェクト事業】 活用する地域資源：海産物 世界屈指の三陸漁場で水揚げされる海産物を素材として、料理人を中心とした地域の小規模事業者、中小企業の連携により、ワカメ、高価値な食材のアワビ、イクラ等を素材とした三陸食材による商品を開発する。大手水産加工メーカー等の大企業が取組んでいないニッチ市場でのブランド確立を目指し、海外市場で通用するブランド力の育成強化のため、まずは国内での市場浸透による販路拡大に向けた戦略策定を行う。	H19年度				

JAPANブランド育成支援事業一覧（平成16～令和元年度） * 53件

事業開始年度	県名	事業実施者	事業概要	戦略策定	ブランド確立			
				0年目	1年目	2年目	3年目	
H19年度	福島県	伊達市商工会	【JKB ジャパンニットブランドプロジェクト】 活用する地域資源： ニット製品 JKBのモスクワ向けコンセプトの確立を図るため、専門家を招き、現地法人から情報提供を受ける仕組みを作る。現地調査事業で多くのロシア人関係者との人的なネットワークを構築を図る。試作品に関してはモスクワのデザイナーに試作品の制作を依頼。また、ニットのデザイン力不足を補うため、若手ニッターからなる作業部会を立ち上げ、企画力の向上を図る。	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
H20年度	青森県	弘前商工会議所	【鍛冶町・鍛造刃物産業構築「津軽打刃物」ブランド展開プロジェクト】 活用する地域資源： 刃物 津軽地域古来(約1,000年前)から綿々と培われてきた鍛冶技術による打刃物と、他の地域資源産業(「津軽塗」、「こぎん刺し」、「木工」、「農業」等)との関係性を再構築し、鍛冶職人の技を再発見して昇華することで「津軽打刃物」ブランド化を目指す。「鉄」を中心に地域資源全体でスクラムを組み、試作品の開発と顧客ニーズの調査のため国内外での展示会・見本市への出展を行っていく。		H20年度	H21年度		
H21年度	宮城県	仙台筆筍協同組合	【仙台筆筍(SENDAI TANSU)世界ブランド化プロジェクト】 活用する地域資源: 仙台筆筍 これまでに仙台筆筍産業が培ってきた生産・加工技術、現在抱えている従業者や後継者、生産数の減少といった課題やマーケットニーズなど、国内・海外市場にて現状分析を入念に行い、仙台筆筍が持つ市場価値やストーリー性を生かしたブランドコンセプトと基本戦略(ビジネスプラン)の策定を行う。	H21年度	H22年度			
H22年度	青森県	弘前商工会議所	【「弘前な空間デザイン」ブランディングプロジェクト】 地域の中小企業がー丸となり、地域の優れた素材である「津軽塗」「打刃物」「こぎん刺し」「木工」等の技術を活かし、地域内産業連関によるコラボ商品の開発をもとに、「弘前な空間デザイン」のブランド確立を目指す。		H22年度	H23年度	H24年度	
	青森県	株式会社八戸港貿易センター	【八戸産水産加工品 中国市場販路拡大に向けた輸出戦略ー「八戸いか・さば」インチャイナ・プロジェクトー】 八戸の地域産業の強みである水産加工業(特にイカ・サバ加工品)を活かし、中国市場への販路拡大を図り、八戸地域の活性化を目指し、効果的な戦略を策定する。	H22年度				
	岩手県	サンマ製品海外輸出プロジェクト(代表 鎌田水産株式会社)	【サンマ製品海外輸出プロジェクト2010】 本邦三陸沖合で漁獲され、加工したサンマ製品について、ロシアにおけるマーケット関係者と情報交換を行うとともに、市場調査を実施し、販路拡大の手法、改善点等を明らかにし、販売戦略を策定する。	H22年度				
H23年度	岩手県	一般社団法人安代リンドウ開発	【海外市場での「安代りんどう」ブランド定着化事業】 アジア・北米の花弁消費者層に対し、日本の花「安代りんどう」をブランドとして定着させるため、専門家を招聘の上、今後の輸出版売の促進に資するためのブランド策定を行う。	H23年度	H24年度	H25年度		
H24年度	福島県	福島県酒造協同組合	【日瑞コラボレーション！北欧における日本酒飲用文化創造プロジェクト】 福島県各地の酒蔵と北欧のパートナーが連携し、北欧の食文化における日本酒のポジションを確保するための戦略の策定、販路開拓事業を実施する。	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	
H25年度	宮城県	農業生産法人株式会社GRA	【宮城県山元町産イチゴの海外展開プロジェクト】 日本でブランド確立したミガキイチゴをインド共和国・サウジアラビア王国で日本の養液栽培方式を導入し栽培する。おいしく甘く安全な日本産イチゴとしてブランド化し新たな高級イチゴ市場を創出する。		H25年度	H26年度	H27年度	
	宮城県	末永海産株式会社	【石巻復興「日高見の国ブランド」輸出プロジェクト】 東日本大震災で大きな被害を受けた石巻の水産加工業者が統一ブランド「日高見の国」を作り、「三陸の海の復興は日本の再生」を旗印に、新たな販路として海外市場への輸出を目指す。		H25年度	H26年度	H27年度	
H26年度	秋田県	株式会社丸松銘木店	【ウッド・アレンジあきたプロジェクト】 日本の伝統技術である“網代”を洋風空間へも向くインテリア素材に昇華させた『アルマジロ』を使用し、家具や建具等インテリア製品として日本文化への関心が高まっている欧米で販路開拓を進めジャパンブランドに育て上げる。	H26年度	H27年度	H28年度 (H27補正)	H29年度	
	青森県	ブナコ株式会社	【地域資源活用による地域のグローバルリーディングブランド育成プロジェクト】 地域経済団体等と連携して、地域資源「ブナ」及びその優れた加工技術を活かし、海外市場で通用する、先進事例となるブランド構築を図り、販路拡大を進め、地域のブランド化促進に寄与することによって地域活性化を進める。		H26年度	H27年度	H28年度 (H27補正)	
	青森県	株式会社金入	【日本の技×NYハイエンドデザインギフト商品開発事業】 NYにて活躍のプロデューサーKEN HIKOFUによる海外向け工芸品開発。宮城県の伝統工芸である玉虫塗、ガラスウェアのスガハラ、宮城県の染めの「なとりや」による商品開発でNYにて販路拡大を目指す。		H26年度			
	岩手県	株式会社大武・ルート工業	【「世界一薄いトレッドミル」のブランディングと海外展開】 東北産木材を使用し、地域企業のものづくり技術を生かしたスポーツ・医療健康機器を量産化、ブランド化し海外へ展開する。		H26年度	H27年度	H28年度 (H27補正)	
	宮城県	気仙沼水産食品事業協同組合	【東北新ブランド『みちのく Michinoku』の確立】 昨年度、JAPANブランド確立支援事業2年目の採択を経て、「みちのく MICHINOKU」ブランド確立の為、海外向けの商品開発を行い5か国(アメリカ、台湾、ベトナム、シンガポール、タイ)の市場開拓に取り組んだ。今年度は、これまでに開拓した市場(アメリカ、台湾、ベトナム)での更なる販売促進と、新規市場へ参入としてEU市場(フランス)、更にオセアニア(オーストラリア)の市場開拓を目指す。	H27年度	H28年度 (H27補正)	H29年度	30年度 (H29補正)	

JAPANブランド育成支援事業一覧（平成16～令和元年度） * 53件

事業開始年度	県名	事業実施者	事業概要	戦略策定	ブランド確立			
				0年目	1年目	2年目	3年目	
H27年度	秋田県	一般社団法人秋田県貿易促進協会	【秋田湯沢「こまちブランド」食と漆器のコラボレーションによる販路開拓プロジェクト】 湯沢地方伝統の発酵食品、味噌といぶりがっこ、古来より独特の手法で作る川連漆器、三つの特産品がコラボレーションし、日本への関心が深い欧州で、新たに販路を開拓し、世界が認める日本ブランドとして育成します。	H27年度	H28年度 (H27補正)			
	岩手県	株式会社アイカムス・ラボ	【再生医療の研究を支える精密電動ピペットの試作開発と海外展開】 世界最小・最軽量で世界初のペン型電動ピペット「ピベッティ」ブランドの国内販売実績を基盤にして、iPS・再生医療の研究用途に最も適する機能をもつ製品の試作開発を行い、世界に販売展開を行う。		H27年度	H28年度 (H27補正)		H29年度
	岩手県	株式会社ひろの屋	【世界ブランドを創出する「北三陸ファクトリー」】 岩手県北部から青森県南東部に跨る北三陸は、世界最高レベルの品質の食材を産み出す地域である。北三陸の美味しさを引き出す形を追求して発信する連携体を地域企業で作り上げ、世界ブランドとすることを目的とする。		H27年度	H28年度 (H27補正)		H29年度
H28年度 (H27年度補正)	宮城県	一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン	【仙台空港発！地域輸出商社プロジェクト】 東北の地域輸出商社として営業・マーケティング～物流～販売までを一括で行い、仙台空港から東南アジアへ生鮮品を輸出する仕組みを構築する。	H28年度 (H27補正)				
	宮城県	有限会社泰光住建	【アイデアオブイレットプロジェクト】 特殊フィルムによる装飾したカスタムトイレの輸出販売を行う。市場調査、販路開拓のPRを行い現地代理店との契約。世界に類のないトイレ装飾の新市場を開拓する。	H28年度 (H27補正)				
			【Artoletta PROJECT】 本事業は、便器という複雑な立体形状に視覚的歪曲なく(ゆがみなく)平面の図案を再現した装飾トイレ「Artoletta」の海外での営業実績をもとに「富裕層顧客」「商業施設」「一般ユーザー」の販売ターゲット毎に最適なデザインを開発・調査・検証し、製品化に向けた試作を行う。また、メーカーとの協業に適応した製造方法への見直しと量産～流通体制の構築を図りつつ、新分野の製品としてのブランドを確立し、欧州市場での独占的な展開を目指す。		R元年度			
	宮城県	株式会社オークジャパン	【伊達の「仙台筆筍・会席御膳」をブランド化し販路開拓する事業】 世界的美食家を饗応(きょうおう)するための「仙台筆筍」と「伊達の会席膳」のコラボ・ブランド創出プロジェクト。百年続く「手しごと」の心を檜舞台へとプロデュース。	H28年度 (H27補正)				
	青森県	株式会社ファーストインターナショナル	【青森～北米・ハワイの地域を繋ぐ「現代の縄文ネットワーク」のブランド構築】 地域企業が青森産品の輸出拡大を目指す上では、現地で購入する必然性が求められた。海を渡った縄文人をヒントに商品開発と販路開拓を実施し、縄文文化が花開いた青森と北米・ハワイを繋ぐ新たなブランドを構築する。		H28年度 (H27補正)			
	岩手県	二戸市商工会	【「浄法寺漆」×「地酒」ニューヨーク販路拡大プロジェクト】 世界遺産の修復にも使われる、高品質で国内最大の生産量を誇る浄法寺漆を使った漆器を、既にニューヨークで確固たる地位を獲得している南部美人と連携し、「漆と酒」のコラボレーションにより販路拡大を図る。		H28年度 (H27補正)		H29年度	
H28年度	宮城県	五光食品株式会社	【被災地から宮城の復興ブランドを「特殊技術」活用で創出する事業】 五光食品が有する「紫外線照射技術」と「氷温技術」を、参画事業者が輸出用商品に再開発し、TPP参加国等の市場性ある地域の販路開拓を行う。物流課題克服のため専門機関ともネットワークし試行的実施を行う。		H28年度 (H27補正)			
	青森県	有限会社二唐刃物鍛造所	【「弘前、未来のモノづくり」プロジェクト】 弘前伝統工芸の次代を担う後継者及び若手職人を中心に現地トレンドを汲んだ柔軟な商品開発を行い、欧州への新規販路開拓を行う。若手職人の技術と経験値を向上させ、「弘前のモノづくり」が持続的発展する体制構築及び地域ブランドの確立を行う。	H28年度				
	宮城県	株式会社阿部長商店	【気仙沼フィッシュソーセージのイスラム市場開拓プロジェクト】 気仙沼市の主要漁獲魚種でありながら、副産物としてすり身原料やペットフード原料として安価に流通しているサメ肉や小型カツオ等の有効活用と高付加価値化に向け、販売開始前の最終段階として、中東諸国と東南アジア諸国のイスラム市場をターゲットとした気仙沼フィッシュソーセージの一般消費者向けマーケティング調査を実施し、持続可能な販売活動の確実なスタートを切る。	H28年度	H29年度	H30年度		
	宮城県	協同組合グリーンエネルギーパートナーズ	【マイクロ水力発電ユニットの海外展開～みやぎ大崎のものづくり力で新市場を切り開く！～】 宮城県大崎市内のものづくり企業が連携して水力発電プロジェクトを立ち上げ、各社の固有技術を活かして開発した高効率マイクロ水力発電機及びその設置/活用/のノウハウを、マイクロ水力発電分野のJAPANブランドとして東南アジアの新興国を中心に海外展開を図る。	H28年度				
	福島県	桑折商事倉庫株式会社	【ドイツ・オーストラリアにおける福島県産品の販路開拓】 異業種5社のノウハウ・ネットワークを活用した異業種グループによるドイツ・オーストラリアへの海外市場調査及び販路開拓事業を実施する。	H28年度				
	宮城県	キリハラワークス&デザイン	【3Dフレームで欧米市場に新カテゴリを作り出せ！】 立体物を展示・保管する「3Dフレーム」の海外販売実績やバイヤーとの商談実績を基に、販売ターゲット別の製品を開発し、グローバルサプライチェーンの構築を図りつつ新分野の製品としてのブランドを確立し、欧米市場での独占販売を目指す。		H28年度	H29年度		

JAPANブランド育成支援事業一覧（平成16～令和元年度） * 53件

事業開始年度	県名	事業実施者	事業概要	戦略策定	ブランド確立			
				0年目	1年目	2年目	3年目	
H29年度	岩手県	一関商工会議所	【一関もち食ブランド化プロジェクト】 当地域の伝統文化である「餅食」に関連する商品を地域全体でブランド化し、台湾やベトナムといった東アジアの国々に対する販路拡大や、海外のニーズに合わせた新商品の開発に取り組む。	H29年度				
	岩手県	株式会社東光舎	【日本製理美容品の認定化システム構築によるブランドの確立】 日本製理美容品は、これまで海外においてその高い品質によってブランドを維持してきたが、近年、中国製などの低品質の品が「日本製」と偽り販売されブランドに悪影響を与えられている。そこで国内メーカーが協調してブランドの再構築を実施する。昨年度は戦略策定支援事業の枠で調査活動を行ってきたが、本年度はこれを発展させ海外展示会やホームページにて認定化システムの認知度の向上を図る。	H29年度	H30年度 (H29補正)			
	宮城県	株式会社ヤマナカ	【MIYAGI OYSTER プロジェクト】 歴史と実績のある生食用宮城県産殻付牡蠣ブランド“Miyagi Oyster”として海外へ展開。世界へ向けて、宮城県が誇る水産物ブランドを構築する。	H29年度	H30年度			
	山形県	鶴岡シルク株式会社	【鶴岡特産のシルクⅡを使った最高級シルク商品の海外展開とブランド化】 素材にシルクⅡを使い、その高い伸縮性と日本古来の紋様を基調にしたカラフルなデザインで日本らしさを表現した最高級シルク商品により、EU市場での日本製シルク商品の付加価値を高めると共に、「鶴岡シルク」の新たなブランドを確立する。	H29年度	H30年度 (H29補正)			
	山形県	山形県酒造組合	【日本酒産地「GI山形」を世界へ(地理的表示)】 日本酒で県単位の初認定を得た「GI山形」を、輸出量の多い地域(米国とアジア)と輸出を始めた地域(欧州)に対して、「GI山形」を周知・浸透させながらの需要開発に取り組む。香港は、3年間継続しながらメニューリストのサケ区分に山形表記の導入を促しながら将来的にはインバウンドの強化を目指し、ロシア・イタリア・米国は、開催するイベントを契機として「GI山形」を広め輸出量の拡大につなげていく。		H29年度	H30年度 (H29補正)	R元年度	
H30年度	福島県	株式会社キャスト	【福島県白河圏域複合企業体「SHIRAKAWA VALLEY」でのEU販路開拓プロジェクト】 福島県白河周辺には高品質・高性能の素形材連携チーム「白河素形材ヴァレー SHIRAKAWA VALLEY」がある。素材、熱処理、加工、その他金属製品をワンストップで発注できる特長を最大限生かし海外市場を獲得する為のブランド確立事業	H30年度 (H29補正)	R元年度			
	青森県	株式会社リンクアンドブリッジ	【「青森の黒にんにく」をトリガーに、『B to P』でEU販路拡大！】 あおもりの食文化にほれ込んだイタリア人シェフが、「青森の黒にんにく」や「妙丹柿」などの地域資源をイタリアのプロフェッショナルに直接売り込む『B to P』！ ～『LOCAL TO LOCAL』で創るEU販路！		30年度 (H29補正)			
	山形県	オリエンタルカーペット株式会社	【「山形綴通」一足もとのからのおもてなしを世界へー】 国内外の著名建造物の納入実績に裏打ちされた技術に、世界的工業デザイナーや建築家のデザイン力が付加された「山形綴通」の差別化を目指して、シンガポールや台湾における販路拡大活動における知見を取り込みながら、ドイツの展示会を通じたヨーロッパ市場を中心にした海外市場獲得を図っていく。		H30年度 (H29補正)	R元年度		
	青森県	一般社団法人あおもりPG推進協議会	【青森県発の健康美容素材「あおもりPG」海外展開プロジェクト】 青森県発の健康美容素材であるプロテオグリカン「あおもりPG」の海外ブランド戦略を策定し、(一社)あおもりPG推進協議会会員企業による「あおもりPG」商品の積極的な海外販路拡大と外貨獲得を図る。	H30年度				
	宮城県	KSユーラシア株式会社	【東北応援！食品のロシア進出サポート事業】 2018年はロシアにおける日本年ということで、日露の二国間関係の発展が注目される中、ロシア人の日本食品に対する興味が高まるこの機会に東北の美味しい食材を現地に提供し、ビジネスの可能性を見出す。	H30年度				
	宮城県	東北・食文化輸出推進事業協同組合	【組合形式での活動による「TOHOKU」ブランド確立プロジェクト】 「東北・食文化輸出推進事業協同組合(申請者。以降、「組合」)」は、平成29年の設立以降、参画組合員である東北の食品事業者並びに支援機関である「東北・食のソラみち協議会」と共に、諸外国における「TOHOKU」ブランドの構築、確立を目指して活動してきたが、個別の企業や商品、市町村での販促活動には、資金やマンパワー、商品バリエーションの点からも限界がある状況。本プロジェクトでは、東北の農水産事業者らの組合形式により、個別商品や地方自治体に留まらず東北の優れた「食文化」の輸出を推進し、「TOHOKU」ブランドを海外に広くアピールする。「TOHOKU」を世界で勝ち抜けるブランドとして育成し、その確立を図る。		H30年度	R元年度		
R元年度	青森県	ブナコ株式会社	【醸成された地方ブランド商品の特化した海外市場での販路開拓事業】 国内での知名度が高まった地方ブランドが、真に海外市場で通用し販路拡大が進んでいくことを実証するため、各商品に特化した海外販路開拓事業を行う。これによって同業界や地域の今後の活性化に寄与していく。		R元年度			